

まちの話題

文化・芸術・歴史の秋 松前町文化祭



10月31日、11月1日の2日間、町民総合センターで松前町文化祭が『神明の里に秋天の文化祭』をテーマに開催されました。

展示部門では、書道や押し花、盆栽などの自慢の作品が並び、舞台部門では郷土芸能や歌謡、舞蹈などが披露され、訪れた観客から大きな拍手が送られていました。

今年で42回目となる松前町文化祭には、2日間で1210名が来場し、松前の文化・芸術・歴史に多くの人がふれました。

また、各種バザーや大刀剣展、桜の里松前朝市なども開かれ、賑わいをみせていました。

した。



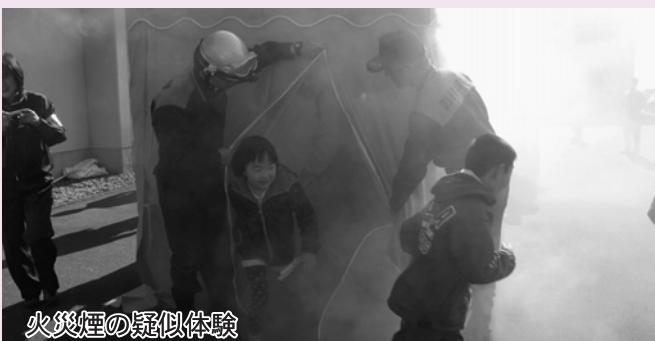
給食を食べた子どもたちは「おかずが一品増えてうれしい」、「温食を食べると食器が熱くなくて気持ちよい」「前の給食よりおいしくなった」など、新しくなった給食を喜んでいました。

新しくなった給食は、8月に完成した松前中学校に併設された給食センターで作られています。献立もパン食中心から米飯中心になり、食器もステンレス製からペン樹脂製へ変わりました。

新給食センターが稼働



震災に備えて 防災総合訓練



11月4日、松城・唐津地区において、松前町総合防災訓練が行われました。

訓練は、青森県西方沖で地震が発生し、松前町に大津波警報が発表されたという想定で行されました。

住民の避難訓練をはじめ、救出救助、消火活動訓練、炊き出し訓練やAEDを使用した救急救命訓練などたくさんの訓練を行いました。

台による土砂災害に関する講話や火災煙の疑似体験なども行われました。

災害はいつ起ころかわからません。「地震が起きたら、まず高台へ避難する」ことを意識し、避難経路や避難先などを確認しておきましょう。



そのほか、函館地方気象台による土砂災害に関する講話や火災煙の疑似体験なども行われました。

旧松前駅前に花壇を造成



11月13日、株式会社小川建設（代表取締役・小川陽一）が博多地区の旧松前駅前広場に花壇を造成してくださいました。

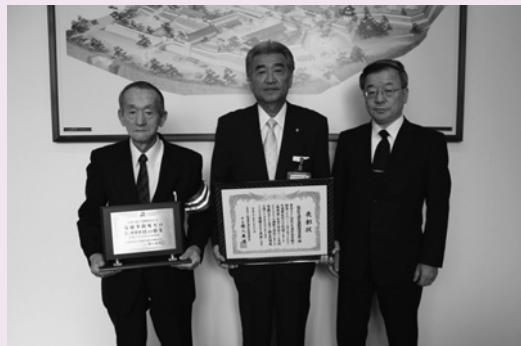
これは、博多町内会から旧松前駅前に設置している「北海道最南端の町 松前駅」石碑の周辺環境を整備したいと、町へ要望されていたもので、小川建設が地

域貢献の一環として、整備されました。

11月24日には、その功績に感謝し、小川建設へ町長から感謝状が贈られました。来年の春には、博多老人クラブの皆さんを中心に、きれいな花が植えられる予定です。

域貢献の一環として、整備されました。

交通事故死ゼロ 3000日達成!



松前町では、10月30日をもつて交通事故死ゼロ「3000日」（約8年2ヶ月）を達成しました。

11月6日には、公益社団法人北海道交通安全推進委員会から松前町交通安全推進委員会（会長・石山英雄）へ記念の盾と賞状が贈られました。

今後もこの記録が4000日、5000日と続けられるよう、町民一丸となつて交通安全を心掛けましょう。

その後の懇親会では、松前町の桜のビデオ上映や松前の特産品などが当たる抽選会も行われ、出席された方々は、久しぶりに再会した仲間たちとの思い出話を咲かせていました。

終わりに、東京松前会から町づくりに役立ててほしいと、寄附金10万円が、大八木会長から石山町長へ手渡されました。

思い出話に花が咲く 「東京松前会」

10月24日、東京で、ふるさと松前を離れ、首都圏に在住している方々で組織している「東京松前会」（会長・大八木諭）が会員74名が出席し開催されました。

初めに大八木会長からのあいさつと、石山町長や伊藤町議会議長から町政や町の近況などの報告があり、

専念寺の福島憲成住職からは、ふるさと松前町内のお墓の管理事情についてお話をがありました。



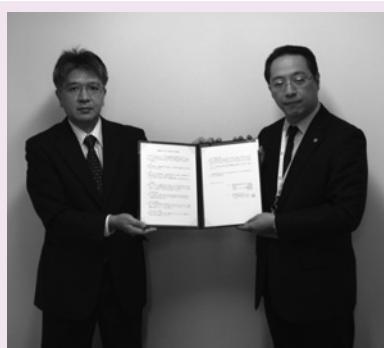
松前町は、高齢者などの住民の方が、安心安全に暮らし続けるために、地域の福祉向上を目的とした連携協定を次の2事業者と結びました。

第一生命保険株式会社

函館支社

10月19日、第一生命保険株式会社函館支社（支社長・加藤大輔）と連携協定を結びました。

協定の内容は、外交員が保険契約者を訪問した際などの業務中に、何らかの異変に気づいた場合、役場へ連絡するなど地域の見守り活動を行うものです。



地域で安心して暮らすため 地域見守り活動

函館地方道新会

11月6日、函館地方道新会（会長・宮崎高志）と連携協定を結びました。

協定の内容は、北海道新聞の配達時に、支援や保護を求められたり、郵便物や新聞が郵便受けにたまっているなどの異変に気づいた場合、役場へ連絡するなど地域の見守り活動を行うものです。



藩屋敷をきれいに 松前中全校ボランティア



10月27日、松前中学校全生徒が藩屋敷の清掃ボランティアを行いました。この活動は、11月から4月の冬季休館を前に、多くの観光客が来館した藩屋敷をねぎらおうと、3年前から行われているものです。当時は、生徒たちが11棟を手分けして展示物の人形や装飾品を磨いたり、落ち葉を拾つたりと、隅々まで清掃活動を行いました。

魚を増やす植樹活動



10月28日、大鷗津川河川敷で大島小の5、6年生やら行われているものです。当時は、生徒たちが11棟を手分けして展示物の人形や装飾品を磨いたり、落ち葉を拾つたりと、隅々まで清掃活動を行いました。

魚を増やす植樹活動



この植樹は、毎年江良地域マリンビジョン推進協議会（会長・中江昭彦）が主體となって行っているもので、ミズナラやイタヤカエデ、ケヤマハンノキの3種類、計150本植えました。

この植樹は、町有林のスギなどで建築された校舎へ恩返しの意味を込めて行つたものです。

松前の森づくり植樹活動



生徒たちは、二トリホールディングスの支援のもと二トリザクラなど260本植えました。

また、植樹活動終了後、北海道認定の木育マイスターによる木育教室が開催され、森林資源の循環利用などについて学びました。

楽しく学ぶ健康まつり



日本健康太極拳協会北海道南ブロック協議会、鎌田一志先生による「太極拳と健康法」と題した講演と、マイクアップスタジオChiba、千葉祐子先生による実演を交えながらのお話に約110人の参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、血压や体脂肪、脳年齢の測定コーナーやホット

ケ、昆布など、松前の食材を生かした料理の試食コーナーなどに多くの方が参加し、楽しく健康づくりを学んでいました。

